

2024 年度自己評価及び学校関係者評価シート

2025 年 2 月
認定こども園桑園幼稚園

1. 園の教育目標

ともに育ち、ともに生きる

2. 2024年度の年主題

さあ漕ぎだそう 奏でよう ～希望の中で～

3. 2024年度の重点目標・計画

- ・キリスト教保育の基本に立ち返り、認定こども園としての保育を作り上げていく。
- ・会議や打ち合わせの持ち方、職員間の共有や連携の仕方を工夫する。
- ・乳児の保育の学びをさらに深めていく。
- ・園児の安心安全な生活を守る。

4. 評価項目の達成および取り組み状況

区 分	評価	振り返りと課題	学校評価委員の評価
1 保育の 計画性	B	<ul style="list-style-type: none"> ・園の教育目標や教育保育要領をある程度理解しているが、子どもの姿や今後の生活を考慮した計画は不十分だったと感じる。 ・自発活動について保育者間で考え相談しながら、子どもにとってより良い環境を作っていきたい。 ・キリスト教保育についての理解をより深めていきたい。 ・子どもの姿を思いながら保育計画を立てているが、保育者主導の活動展開になってしまったのではないかと感じることもあった。 	A
2 保 育 の あり方・ 園 児 へ の対応	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちに寄り添った保育、子どもの思いを受け止め適切な対応を心掛けた。 ・子どもたち一人ひとりの育ちや気持ちを尊重し関わるよう心掛けている。 ・子どもの行動を制止してしまうことがあったと感じる。 ・言葉で訴えることのできない乳児は特に、保育者がその思いや体調を把握し、安心して気持ちよく過ごせるよう心掛けた。 ・余裕がなくなると視野が狭くなりがちなので改善していきたい。 ・1号降園後の保育はすべての年齢の子どもと関わるので、連携を密にして情報の共有をしっかり行っていきたい。 ・安全には配慮していたが、子どもの怪我につながる場面もあったので同じことがないようにしたい。 	A
3 教 師 と しての 資 質 ・ 能 力 ・ 良 識 ・ 適 性	A-	<ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教保育の保育者として、神さまの存在を通して子どもたちの前に立っていることを意識し、保育を行うようにする。 ・子どもとの関わりを楽しみ、他の保育者と支えあって保育を進められていることに感謝し、喜びを感じることができている。 ・保育者として、社会人としてのマナーや身だしなみなどは気を付けるよう心掛け、ルールを守って働くことができていた。 ・クラス担任同士の打合せはしっかり行ってきたが、多くの保育者と共有し、意見も聞きながら保育について考えて行きたい。 ・自分だけで考えたり判断するのではなく、職員全体とも積極的に共有したり話せるよう心掛けてきた。 ・保育室の掃除、整理整頓をもっと意識し、他の職員に頼りすぎず 	A

		<p>しっかりと行っていきたい。(幼児)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室は常にきれいにすることを心掛け、感染症の広がりがないよう保育室、おもちゃなどの消毒も行った。(乳児) ・記録の取り方、行事に向けての業務の進め方など保育者間で相談しながら取り組めるようになってきたので、継続して皆が働きやすいように考えていきたい。 	
4 保護者への対応	A	<ul style="list-style-type: none"> ・何かあったときだけでなく、日頃から保護者と顔を合わせる回数を増やし小さなエピソードも伝えるように心掛けている。 ・コミュニケーション能力が低いと感じているので、他の保育者の姿に学んでいきたい。 ・2人の担任がバランスよく保護者と関わることができるよう配慮したい。 ・ブログや連絡帳も活用し、保護者と連携が取れるよう努めた。 ・つどい、ぶどうの会の在り方や働く保護者が増えている中での保護者支援の在り方について考え工夫していきたい。 	A
5 連携や地域との関わり	B	<ul style="list-style-type: none"> ・たんぼぼ広場や非在園児の一時預かりなどで、いろいろな家庭とつながり関わることは地域で子どもを守り育てていくために必要なことと感じているので、保育者として寄り添えるようにしていきたい。 ・たんぼぼ広場に参加する親子や一時預かりを利用する方が安心して過ごせるような言葉がけや笑顔を心がけた。 ・実際にたんぼぼ広場に関わってみて、その大切さをより感じる事ができた。 ・地域で行われている子育て支援についても知っていきたい。 	B
6 研修と研究	A	<ul style="list-style-type: none"> ・一年目は多くの研修があり、ひとつひとつ大きな学びがあったので、定期的にその学びを振り返り日々の保育に生かしていきたい。 ・研修での学びは多くあり、自身の保育にもつながっているが、積極性が足りていなかった。 ・他園の公開保育に参加し学びを深めることができた。 ・研修に参加することにより、自分の中の引き出しを少しずつ増やし、自分に何ができるかを見つめ直し保育に生かすことができた。 ・中堅研修に参加し学びを深める中で、自らの弱点も見えてきたので改善できるようにしたい。 	A
7 食に関する事	A	<ul style="list-style-type: none"> ・給食2年目となり頑張っていた一年目と比較して、子どもが慣れた分素直に残すこともあったと感じる。 ・食の細さや偏食など配慮すべき点もあるが、保育者の声掛けの仕方も大切であると感じた。 ・残菜が多かったものについては、都度栄養士と子どもの食べ方や反応を共有し、次の提供時にできる工夫や配慮を話し合った。 ・栄養士、調理員が子どもたちに親しみを持ち、子どもが喜んで食べられる給食の提供に努め、食べやすさ、残菜量の減少につながっていった。 ・調理室前で子どもが手を振り、声をかけ、それに手を振って応えてくれる関係が、子どもたちの食べる意欲、調理員さんの働く意欲につながったと思う。 ・試食会を2回行い、保護者のご意見やお家での子どもの食に関する様子を聞くことができた。保護者からは高評価をいただいた。 ・子どもたちはお弁当の日も喜んでいるので、保護者にご理解をいただきながら、どちらも大切にしていきたい。 	A

5. その他の事項

- ・社労士との打ち合わせを重ね、労働環境の改善や規則・規約の整備ができたことを受けて、働く側も仕事の効率化や職員間での分担などに努めていきたい。
- ・全国保育士会が発行する「人権擁護のためのチェックリスト」を用いて、各自が保育を振り返るだけでなく、保育者間でも気を付けあいながら、子どもの人格、人権を尊重した保育に対する意識の向上に努めたい。

6 新年度の課題

- ・キリスト教保育を改めて学び、一人ひとりの子どもの心と育ちに寄り添った保育のあり方を学ぶ。
- ・職員会議のあり方を考え、保育者間の意思疎通や共有、連携をより深めていく。
- ・保育についての園内研修を行い、保育の質向上に努める
- ・乳児から幼児の子どもの育ちを踏まえた保育をともに考え実践していく。
- ・園児の安心安全な生活を守る。

7. 財務、経営状況

- ・公認会計士監査、監事監査により、適正に運営されていると認められている。
- ・園舎建て替えにより、(独)福祉医療機構と留萌信金から受けた融資の返済が始まっている。

8. 安全管理

- ・防火管理者、衛生管理者を置き、管理を行っている。
- ・救命救急講習を保育教諭全員が受講した。
- ・警備会社による防犯セキュリティシステムを導入していると同時に、新園舎になり玄関のロック等も防犯対策を施したものに変更された。また2023年度末に外構工事が完了し園庭の防犯対策も整備された。
- ・年2回の自衛消防訓練と北海道シェイクアウトによる地震の訓練、浸水避難訓練を行った。
- ・学校薬剤師による環境検査も行い、指摘事項なし。
- ・現金やマイナンバーなども、厳重に管理している。

9. 学校評価委員会でのコメントと助言

- ・子どもが生き生きと主体的に過ごせる保育を保育者がともに目指していることを感じる。
- ・子ども主体の保育をすることを意識しているからこそ、「子ども理解」の重要性、保育者連携の必要性の反省につながっていると感じる。
- ・「子どもはこういうものだから」という型にはまらない保育と環境に感謝している。
- ・保育者間がアイコンタクトを取れる(心の)距離の近さを見ていて感じる事ができた。
- ・子どもが本当にやりたいことを思う存分でき、十分に遊びこめる生活をさせてあげたいと思うと反省が出て当然であり、目指しているところがあるという証しでもあると感じる。また、保育者と子どもの距離感が良い。必要な時に関わる、必要のないときには距離を取る関わりができ、幼稚園が支援の必要な子どもたちにとっても居心地の良い場所となっている。これがキリスト教保育なんだと思う。
- ・子どもたち一人ひとりの気持ちに寄り添い、気持ちを大切にされた保育が行われていると感じる。
- ・園児も楽しい、保育者も楽しいという明るい雰囲気を感じている。
- ・年齢を問わずいろいろな友だちとの交流があること、クラス担任に限らず全員の先生がそれぞれの子どもたちと関わりをもっていることが桑園幼稚園の魅力であると思う。
- ・雑談の中から出る話の大切さ、その雰囲気を大切にして、クラス担任、保育者集団の意思疎通を行い、課題を出し合う中で集団として保育を高めて行けるとよい。

評価について

A	・十分できている	C	・取り組まれているが十分ではない
B	・できている	D	・できていない